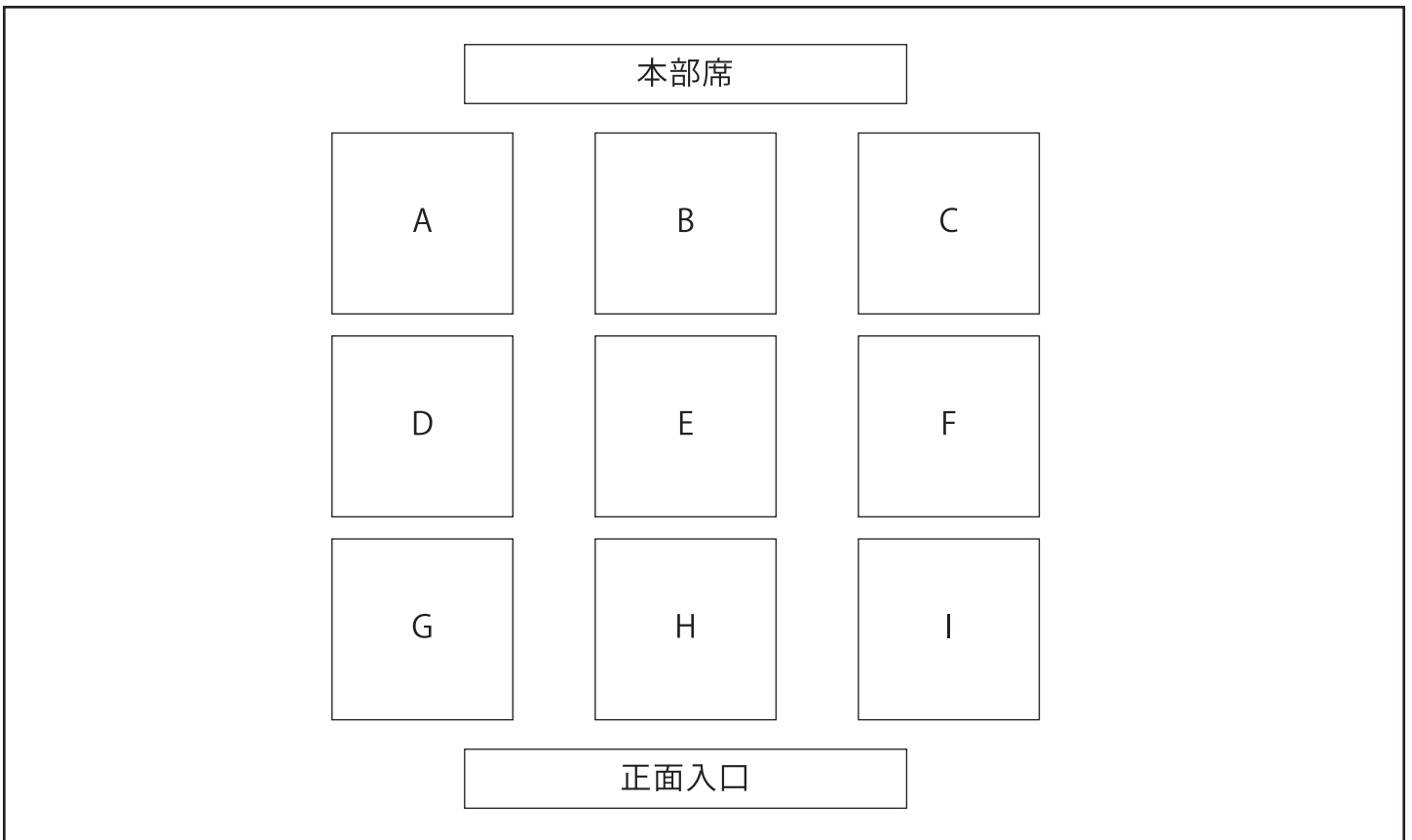


【大会スケジュール】

審判	予定時間	備考	Aコート	Bコート	Cコート	Dコート	Eコート	Fコート	Gコート	Hコート	Iコート	
	8:30		受付開始									
	9:15~9:30		開会式									
		競技開始	中学生 パワー・スペシャル	成年シニア男子 パワー・スペシャル	成年シニア女子 パワー・スペシャル	小学6年 パワー・スペシャル	小学5年 パワー・スペシャル	小学4年 パワー・スペシャル	小学3年 パワー・スペシャル	小学2年 パワー・スペシャル	小学1年以下 パワー・スペシャル	
	11:00	パワー・スペシャル 競技終了目安時間	11:00	10:45	10:30	10:30	10:30	11:00	10:40	10:20	10:20	
3審判	11:00	ツール競技開始	少年部:黄帯 小学1・2年生女子	少年部:黄帯 小学1・2年生男子	少年部:黄帯 小学3年生男子	少年部:黄帯 小学3・4年生女子	少年部:黄帯 小学4年生以上男子	少年部:青帯 女子	少年部:緑帯 小学3年生以下男子	少年部:白帯 小学3年生以上	少年部:白帯 未就学児	
			少年部:緑帯 小学4年生男子	少年部:黄帯 小学5・6年生女子	少年部:緑帯 小学5・6年生男子	少年部:青帯 小学3・4年生男子	少年部:青帯 小学5・6年生男子	成年部:女子 青・赤帯	成年部:男子 青・赤帯	少年部:緑帯 小学2・3年生女子	少年部:白帯 小学1・2年生	
			少年部:赤帯 男子	少年部:緑帯 小学4年生以上女子	少年部:赤帯 女子	中学生:黄・緑・青帯 男子	中学生:赤帯 男子	中学生:女子	シニア:男子 黄・緑帯	シニア:男子 青・赤帯	成年部:女子 黄・緑帯	少年部:白帯 表彰式・閉会式
											シニア:女子 黄・緑帯	成年部:男子 黄・緑帯
	12:15	ツール競技終了 目安時間	12:05	12:00	12:10	12:00	12:10	12:10	12:10	12:10		
	12:20~12:40		休憩				演武	休憩				
3審判	13:00	マッソギ競技開始	キッズマイクロ級 男子	キッズマイクロ級 女子	キッズライト級 小学2年生以下男子	キッズライト級 小学3年生男子	キッズライト級 小学4年生以上男子	キッズ ライト級女子	キッズミドル級 小学3年生男子	キッズミドル級 小学4年生男子	キッズミドル級 小学5年生以上男子	
			キッズミドル級 女子	キッズヘビー級 小学5年生以下男子	キッズヘビー級 小学6年生男子	キッズヘビー級 女子	キッズハイパー級 小学5年生以下男子	キッズハイパー級 小学6年生男子	キッズハイパー級 女子	成年部ライト級 男子	ジュニアライト級 女子	
			ジュニアライト級 男子	ジュニアミドル級 女子	ジュニアヘビー級 男子	ジュニアヘビー級 女子	ジュニアミドル級 男子	成年部マイクロ級 男子	シニア軽量級 女子	成年部ハイパー級 男子	シニア軽量級 男子	
				成年部ミドル級 男子	ジュニアハイパー級 男子	シニア重量級 男子	成年部ライトヘビー級 男子		成年部マイクロ級 女子		成年部ライト級 女子	
					成年部ミドル級 女子							
		マッソギ競技終了 目安時間	14:50	14:35	14:50	14:40	14:50	14:50	14:55	14:50	14:50	
5審判	15:00	団体戦 開始	成年部 パワー・スペシャル決勝	団体マッソギ男子	団体マッソギ女子	競技終了次第 コート撤収	男女混合 Aブロック	競技終了次第 コート撤収	競技終了次第 コート撤収	男女混合 Bブロック	競技終了次第 コート撤収	
							団体ツール決勝			団体ツール 3位決定戦		
	16:00	全競技終了	表彰式・閉会式									
	17:00	撤収完了	片付け・撤収									

【会場図】



競技ルール

型 トウル

型(トウル)は、テコンドーの根幹をなすものです。ITFテコンドーにおいては全部で24種類の型があり、テコンドーの基本動作や、実際の攻防を想定した一連の動きで構成されています。

競技方法と勝敗

1対1で対戦し、級位・段位に合わせて主審から指定された型を同時に行う。演技終了後、審判員の旗判定の合計によって勝敗を決める。決勝戦のみ指定された型の他に自由型(自己申告する)の2つの型を行う。

採点基準

以下の内容が型の採点基準になります。
動作の正確性・力強さ・スピード・バランス・呼吸・動きの滑らかさ・リズム・動作のタイミング・サインウェーブ

団体戦

4〜5名(男女混合可)でチームを構成します。赤コーナー、青コーナーの順にチームごとに自由に選択したトウルを1つ演じます。トウルを行う際の配置はコート内であれば各人が自由な向き、自由な位置を選択できます。気合の発声やトウルの動作順序や向きを変更することはできません。※左右対称に行うなど時間差を付けた演技には加点がされます。個人トウルの採点基準に加え、チームワーク、振り付けの精度、振り付けの難易度、選択したトウルの難易度などが審査基準に加わります。

組手 マツソギ

テコンドーの組手(マツソギ)では、ライトコンタクト制が用いられています。テコンドーの組手競技の目的は、相手を倒すことではなく、より正確な技を競い合うことにあります。

競技方法

手足に防具(グローブ)を付けてのフリースパーリング形式。定められた時間で競技を行い、ポイントの獲得数によって勝敗を決める。

競技時間

- 少年部(小学生以下):1分30秒 1R(ラウンド)
- 中学生・成年・シニア:2分 1R(ラウンド)
- ※決勝戦のみ2R※引き分けの場合は延長1分

有効打とポイント

正しく、力強く、素早く、攻撃の意思を持って、有効部位を攻撃し、攻撃後もバランスを崩していない場合に得点となる。スピードのない攻撃、偶然当たった攻撃、攻撃後に転倒や場外に出た場合などはすべてポイントにならない。有効部位は、中段(帯の上から首までの胴体の前面と側面)、上段(顔面、側頭部、頭頂部)、ポイントは右の表を参考に。



1ポイント
手技による上段、中段への攻撃



2ポイント
蹴りによる中段への攻撃



3ポイント
蹴りによる上段への攻撃

注意・減点・失格

【注意】 以下の場合、「注意」の警告を受ける。「注意」3回で1ポイントの減点を取られる。

- ・下段(帯より下)、背面、後頭部を狙った攻撃
- ・相手を押す、つかむ、倒す、投げる、クリンチなどの行為
- ・顔面への強打(振りかぶる、振り抜く等の)
- ・頭突き、肘、ひざ、などを使った攻撃
- ・場外(場外ラインから両足が出た)
- ・転倒(片ひざ、片手などが床に付いた時点でも転倒とみなされる)
- ・試合に対して消極的な行為。相手に背を向けて逃げる等、故意に対戦を避けた時
- ・倒れた相手への攻撃や致命傷を与えようとする行動
- ・対戦相手への侮辱
- ・審判員に対する不品行

【減点】 上記行為の中でも、特に度を越している、又は危険と判断されるものは「減点」警告とともに減点を取ります。

【失格】 3ポイントの減点を取られた時点で、その選手は失格負けとなる。また上記反則行為の中でも、特に悪質である場合には主審判断により即失格となる場合もあります。

威力 パワーブレیکنング

パワーボードを使用します。指定された技にて割れた板の枚数を競います。

特技 スペシャルテクニク

目印となる板状のものを使用します。指定の高さに、指定された足技にて到達するかを競います。